

対象校No. 388

注4

学校コード F114210104616

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

届出

注2

横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻 (博士後期課程)

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

公立大学法人横浜市立大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学務・教務部 教育推進課

職名・氏名

電話番号 045-787-8909

(夜間) 045-787-2311

e-mail acaplan@yokohama-cu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
 - ・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
 - ・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
 - ・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 - ・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
 - ・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
 - ・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 - ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
 - ・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

データサイエンス研究科 ヘルステータサイエンス専攻 博士後期課程

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	4
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的な事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人横浜市立大学

(2) 大 学 名

横浜市立大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒236-0027

神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(オサナイ イヅミ) 小山内 いづ美 (令和3年4月1日)	(コンノ シンイチ) 近野 真一 (令和6年4月1日)	退任に伴う交替（6）
学 長	(アイハラ ミチコ) 相原 道子 (令和2年4月1日)	(イシカワ ヨシヒロ) 石川 義弘 (令和6年4月1日)	任期満了に伴う交替（6）
研究科長	(ツチヤ タカヒロ) 土屋 隆裕 (令和4年4月1日)	(オオニシ アキオ) 大西 晓生 (令和7年4月1日)	教員管理職人事による交替（7）
専攻長	データサイエンス専攻 (ツチヤ タカヒロ) 土屋 隆裕 (令和4年4月1日)	データサイエンス専攻 (オオニシ アキオ) 大西 晓生 (令和7年4月1日)	教員管理職人事による交替（7）
専攻長	ヘルスデータサイエンス専攻 (ゴトウ アツシ) 後藤 温 (令和3年7月1日)	ヘルスデータサイエンス専攻 (タノシマ レオ) 田野島 玲大 (令和7年4月1日)	教員管理職人事による交替（7）

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください
(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、別ファイルにて提出してください。
- ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの5年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必要な場合に、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻 博士後期課程 博士 (ヘルスデータサイエンス)	理学関係	3年	3人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	9人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考	
		春季入学	その他の学期															
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	3人	人	3人	人	3人	人	-				
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	6	人	4	人	4	人	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳	1.22倍	-		
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]					
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	6	人	4	人	4	人					
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	1.33		1.33		1.33						

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」JAC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	4	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	[0]	[-]	[0]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(-)	(0)	(-)	(0)	(-)	
2年次	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	[0]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0	(-)	(0)	(-)	
3年次			-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(-)	
4年次				-	-	-	-	-	-	-	-	-	
				[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	4	-	7	-	11	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[0]	[0]	-	[0]	-	[0]	-	
	(-)	(-)	(-)	(-)	0	(0)	(0)	-	(0)	-	(0)	-	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)	
			入学した年度	退学者数			
				うち留学生数			
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人		
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	- 人	- 人		
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	- 人	- 人		
			令和4年度	- 人	- 人		
令和5年度	3 人	1 人	令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	- 人	- 人		
			令和4年度	- 人	- 人		
			令和5年度	1 人	0 人	その他(1人)	
令和6年度	7 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	- 人	- 人		
			令和4年度	- 人	- 人		
			令和5年度	0 人	0 人		
			令和6年度	0 人	0 人		
令和7年度	11 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	- 人	- 人		
			令和4年度	- 人	- 人		
			令和5年度	0 人	0 人		
			令和6年度	0 人	0 人		
			令和7年度	0 人	0 人		
合計		1 人		1 人	0 人		

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{4} = \boxed{25} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<データサイエンス研究科 ヘルステータサイエンス専攻 博士後期課程>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
必修科目	ヘルステータサイエンス特別講義 I	1前	2			1	1			
	ヘルステータサイエンス特別講義 II	1後	2			2	4	2		
	ヘルステータサイエンス特別演習 I	1前	2			3	4	2		
	ヘルステータサイエンス特別演習 II	1後	2			3	4	2		
	ヘルステータサイエンス特別演習 III	2前	2			3	4	2		
	ヘルステータサイエンス特別研究指導 I	2前	2			3	4	2		
	ヘルステータサイエンス特別研究指導 II	2後	2			3	4	2		
	ヘルステータサイエンス特別研究指導 III	3前	2			3	4	2		
	ヘルステータサイエンス特別研究指導 IV	3後	2			3	4	2		
小計(9科目)		-	18	0	0	3	4	2	0	0
選択科目	ヘルステータサイエンス特別講究A	1・2・3前		2		1		1		
	ヘルステータサイエンス特別講究B	1・2・3後		2		2	1			
	小計(2科目)		0	4	0	3	1	1	0	0
自由科目	大学院・キャリア形成実習	1・2・3集中		1					2	
	大学院・日本語入門 I	1・2・3前・後		2					1	
	大学院・日本語入門 II	1・2・3前・後		2					1	
	大学院・日本語 I	1・2・3前・後		2					1	
	大学院・日本語 II	1・2・3前・後		2					1	
	大学院・日本語 III	1・2・3前・後		2					1	
	大学院・日本語実践	1・2・3前・後		1					1	
小計(7科目)		-	0	0	12	0	0	0	0	3
合計(18科目)		-	18	4	12	3	4	2	0	3
卒業要件及び履修方法										
必修科目18単位、選択科目から2 単位以上を修得し、合計20単位以上を修得すること。										

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
必修科目	ヘルステータサイエンス特別講義 I	1前	2			1	1			
	ヘルステータサイエンス特別講義 II	1後	2			4	3	1		
	ヘルステータサイエンス特別演習 I	1前	2			5	3	1		
	ヘルステータサイエンス特別演習 II	1後	2			5	3	1		
	ヘルステータサイエンス特別演習 III	2前	2			5	3	1		
	ヘルステータサイエンス特別研究指導 I	2前	2			5	3	1		
	ヘルステータサイエンス特別研究指導 II	2後	2			5	3	1		
	ヘルステータサイエンス特別研究指導 III	3前	2			5	3	1		
	ヘルステータサイエンス特別研究指導 IV	3後	2			5	3	1		
小計(9科目)		-	18	0	0	5	3	1	0	0
選択科目	ヘルステータサイエンス特別講究A	1・2・3前		2		1		1		
	ヘルステータサイエンス特別講究B	1・2・3後		2		2	1			
	小計(2科目)		0	4	0	3	1	1	0	0
自由科目	大学院・キャリア形成実習(横浜の産業と企業理解)	1・2・3前		1				1		2
	大学院・日本語入門 I	1・2・3前・後		2				2		2
	大学院・日本語入門 II	1・2・3前・後		2				2		2
	大学院・日本語 I	1・2・3前・後		2				2		2
	大学院・日本語 II	1・2・3前・後		2				2		2
	大学院・日本語 III	1・2・3前・後		2				2		2
	大学院・日本語実践(文章表現A)	1・2・3前		1				1		1
	大学院・日本語実践(文章表現B)	1・2・3前		1				1		1
	大学院・日本語実践(文章表現C)	1・2・3後		1				1		1
	大学院・日本語実践(口頭表現A)	1・2・3前		1				1		1
	大学院・日本語実践(口頭表現B)	1・2・3後		1				1		1
	大学院・日本語実践(口頭表現C)	1・2・3後		1				1		1
	大学院・日本語実践(アカデミックジャーナリズムA)	1・2・3前		1				1		1
	大学院・日本語実践(アカデミックジャーナリズムB)	1・2・3後		1				1		1
	大学院・日本語実践(留学生のキャリアデザインA)	1・2・3前		1				1		1
	大学院・日本語実践(留学生のキャリアデザインB)	1・2・3後		1				1		1
小計(16科目)		-	0	0	21	0	0	0	0	5
合計(27科目)		-	18	4	21	5	3	1	0	5
卒業要件及び履修方法										
必修科目から18単位(特別研究・演習14単位、講義科目4 単位)、選択科目から2 单位以上、合計20単位以上を修得すること。加えて学位論文の審査に合格すること。										

【令和6年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	ヘルスデータサイエンス特別講義 I	1前	2			1	1	1			
	ヘルスデータサイエンス特別講義 II	1後	2			3	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別演習 I	1前	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別演習 II	1後	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別演習 III	2前	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別研究指導 I	2前	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別研究指導 II	2後	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別研究指導 III	3前	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別研究指導 IV	3後	2			4	4	1			
小計(9科目)			18	0	0	4	4	1	0	0	0
選択科目	ヘルスデータサイエンス特別講究 A	1・2・3前		2		1		1			
	ヘルスデータサイエンス特別講究 B	1・2・3後		2		2	1				
	小計(2科目)		0	4	0	3	1	1	0	0	0
自由科目	大学院・キャリア形成実習(職業の意識と企業理解)	1・2・3集中			1					2	
	大学院・日本語入門 I	1・2・3前・後			2					2	
	大学院・日本語入門 II	1・2・3前・後			2					2	
	大学院・日本語 I	1・2・3前・後			2					2	
	大学院・日本語 II	1・2・3前・後			2					2	
	大学院・日本語 III	1・2・3前・後			2					2	
	大学院・日本語実践(文章表現A)	1・2・3前・後			1				1		
	大学院・日本語実践(文章表現B)	1・2・3前・後			1				1		
	大学院・日本語実践(文章表現C)	1・2・3前・後			1				1		
	大学院・日本語実践(口頭表現A)	1・2・3前・後			1				1		
	大学院・日本語実践(口頭表現B)	1・2・3前・後			1				1		
	大学院・日本語実践(口頭表現C)	1・2・3前・後			1				1		
	大学院・日本語実践(アカデミックジャーナリズムA)	1・2・3前・後			1				1		
	大学院・日本語実践(アカデミックジャーナリズムB)	1・2・3前・後			1				1		
	大学院・日本語実践(留学生のキャリアデザインA)	1・2・3前・後			1				1		
	大学院・日本語実践(留学生のキャリアデザインB)	1・2・3前・後			1				1		
小計(16科目)			-	0	0	21	0	0	0	0	5
合計(27科目)											
卒業要件及び履修方法											
必修科目から18単位(特別研究・演習14単位、講義科目4単位)、選択科目から2単位以上、合計20単位以上を修得すること。加えて学位論文の審査に合格すること。											

【令和5年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	ヘルスデータサイエンス特別講義 I	1前	2			1	1	1			
	ヘルスデータサイエンス特別講義 II	1後	2			3	5	1			
	ヘルスデータサイエンス特別演習 I	1前	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別演習 II	1後	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別演習 III	2前	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別研究指導 I	2前	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別研究指導 II	2後	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別研究指導 III	3前	2			4	4	1			
	ヘルスデータサイエンス特別研究指導 IV	3後	2			4	4	1			
小計(9科目)			-	18	0	0	3	5	1	0	0
選択科目	ヘルスデータサイエンス特別講究 A	1・2・3前			2			1		1	
	ヘルスデータサイエンス特別講究 B	1・2・3後			2			1	2		
	小計(2科目)		-	0	4	0	2	2	1	0	0
自由科目	大学院・キャリア形成実習(職業の意識と企業理解)	1・2・3集中				1					2
	大学院・日本語入門 I	1・2・3前・後			2					2	
	大学院・日本語入門 II	1・2・3前・後			2					2	
	大学院・日本語 I	1・2・3前・後			2					2	
	大学院・日本語 II	1・2・3前・後			2					2	
	大学院・日本語 III	1・2・3前・後			2					2	
	大学院・日本語実践(文章表現A)	1・2・3前・後			1			1			
	大学院・日本語実践(文章表現B)	1・2・3前・後			1			1			
	大学院・日本語実践(文章表現C)	1・2・3前・後			1			1			
	大学院・日本語実践(口頭表現A)	1・2・3前・後			1			1			
	大学院・日本語実践(口頭表現B)	1・2・3前・後			1			1			
	大学院・日本語実践(口頭表現C)	1・2・3前・後			1			1			
	大学院・日本語実践(アカデミックジャーナリズムA)	1・2・3前・後			1			1			
	大学院・日本語実践(アカデミックジャーナリズムB)	1・2・3前・後			1			1			
	大学院・日本語実践(留学生のキャリアデザインA)	1・2・3前・後			1			1			
	大学院・日本語実践(留学生のキャリアデザインB)	1・2・3前・後			1			1			
小計(16科目)			-	0	0	21	0	0	0	0	5
合計(27科目)											
卒業要件及び履修方法											
必修科目から18単位(特別研究・演習14単位、講義科目4単位)、選択科目から2単位以上、合計20単位以上を修得すること。加えて学位論文の審査に合格すること。											

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、「認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字」としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 - ・ 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 - ・ (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・「ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ」について、担当教員の職位変更により、「教授2、准教授4、講師2」を「教授2、准教授5、講師1」に変更。
- ・「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ」、「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ」、「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ」について、担当教員の職位変更により、「教授3、准教授4、講師2」を「教授3、准教授5、講師1」に変更。
- ・「ヘルスデータサイエンス特別講究B」について、「教授2、准教授1」を「教授1、准教授2」に変更。
- ・自由科目に、主に外国人留学生向けに開講する日本語科目を9科目新設。

【令和6年度】

- ・「ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ」について、担当教員の職位変更により、「教授2、准教授5、講師1」を「教授3、准教授4、講師1」に変更。
- ・「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ」、「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ」、「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ」について、担当教員の職位変更により、「教授3、准教授5、講師1」を「教授4、准教授4、講師1」に変更。

【令和7年度】

- ・「ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ」について、担当教員の職位変更により、「教授2、准教授5、講師1」を「教授4、准教授3、講師1」に変更。
- ・「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ」、「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ」、「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ」、「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ」について、担当教員の職位変更により、「教授3、准教授5、講師1」を「教授5、准教授3、講師1」に変更。

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	2 科目	7 科目	18 科目	9 科目 [0]	2 科目 [0]	16 科目 [9]	27 科目 [9]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、〔 〕内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△ 1）
 ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）
 の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、
学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{18} = \boxed{0\%}$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考		
(1)	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計				
校地等	校舎敷地	132,769.06m ²	m ²	m ²	132,769.06m ²		客員教員宿舎を横浜市に移管したため、減少(7)		
	運動場用地	46,200.90m ²	m ²	m ²	46,200.90m ²				
	小計	178,969.96m ²	m ²	m ²	178,969.96m ²				
	その他	84,718.64m ² 85,193.61m ²	m ²	m ²	84,718.64m ² 85,193.61m ²				
	合計	263,688.60m ² 264,163.57m ²	m ²	m ²	263,688.60m ² 264,163.57m ²				
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		福浦キャンパスに新棟を建設したため、増加(7)		
		108,908.70m ² 105,735.94m ²	m ²	m ²	108,908.70m ² 105,735.94m ²				
		(105,735.94m ²)	(m ²)	(m ²)	(105,735.94m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		・部屋の用途変更のため(6) ・部屋の用途変更のため(7)		
	59室 61室 58室	104室 109室 107室	47室	13室 14室 (補助職員人)	2室 4室 3室 (補助職員人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室数					
		データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻		4室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書冊	学術雑誌種	電子ジャーナル	視聴覚資料点	機械・器具点	標本点	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数・図書、学術雑誌及び視聴覚資料の現在値については、資料受け入れ、除籍により増減したため変更。(5) ・図書、学術雑誌及び視聴覚資料の現在値については、資料受け入れ、除籍により増減したため変更。(6) ・図書、学術雑誌及び視聴覚資料の現在値については、資料受け入れ、除籍により増減したため変更。(7)	
	データサイエンス研究科	903,074 [227,852] 910,823 [229,825] 922,549 [232,581] 906,723 [228,579]	23,476 [6,171] 23,446 [6,171] 23,410 [6,166] 23,268 [6,149] (903,074 [227,852]) (906,663 [227,647]) (905,411 [229,132]) (906,723 [228,579])	17,038 [15,403] 21,395 [19,795] 21,745 [20,187] 21,700 [20,221] (23,476 [6,171]) (23,446 [6,171]) (23,410 [6,166]) (17,038 [15,403]) (21,395 [19,795]) (21,745 [20,187]) (21,700 [20,221])	6,872 6,617 8,474 4,824 6,872 6,920 (7,853) (4,824)	()	()		
	計	903,074 [227,852] 910,823 [229,825] 922,549 [232,581] 906,723 [228,579]	23,476 [6,171] 23,446 [6,171] 23,410 [6,166] 23,268 [6,149] (903,074 [227,852]) (906,663 [227,647]) (905,411 [229,132]) (906,723 [228,579])	17,038 [15,403] 21,395 [19,795] 21,745 [20,187] 21,700 [20,221] (23,476 [6,171]) (23,446 [6,171]) (23,410 [6,166]) (17,038 [15,403]) (21,395 [19,795]) (21,745 [20,187]) (21,700 [20,221])	6,872 6,617 8,474 4,824 6,872 6,920 (7,853) (4,824)	()	()		
(6) 図書館		面積	閲覧座席数	収納可能冊数				・閲覧座整数は、レイアウト変更に伴い減少(5) ・閲覧座整数は、不要な椅子を撤去ため減少(6) ・閲覧座整数の見直しにより増加(7)	
		13,802.27m ²	791席 790席 811席 843席	1,053,583冊					
(7) 体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					図書購入経費については、電子ジャーナル、データベース、その他の経費（運用コストを含む。）を計上	
		10,671.63m ²	野球用グラウンド	テニスコート他					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	図書購入経費については、電子ジャーナル、データベース、その他の経費（運用コストを含む。）を計上	
		教員1人当たり研究費等	599千円 560千円 537千円 543千円	599千円 560千円 537千円 543千円	図書購入費	205,670千円	205,670千円		
	学生1人当り納付金	共同研究費等	4,226,072千円 3,640,956千円 3,790,376千円 3,558,236千円	4,226,072千円 3,640,956千円 3,790,376千円 3,558,236千円	設備購入費	1,000,000千円	1,000,000千円		
		第1年次	535.8千円	535.8千円	千円	千円	千円		
		市内在住者676.8千円 市外在住者817.8千円							
		学生納付金以外の維持方法の概要	横浜市からの運営交付金等						

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び

「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）

・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	横浜市立大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
国際総合科学部	-	-	-	-	-	-	-	-	平成17		平成30年度より学生募集停止			
国際総合科学科	4	-	-	-	学士(国際教養学) 学士(経営学) 学士(経済学) 学士(会計学) 学士(理学) 学士(学術)	-	-	平成17	神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号					
国際教養学部	-	270	-	1,080	-	-	-	平成31		神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号				
国際教養学科	4	270	-	1,080	学士(学術)	1.18	1.10	平成31	神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号					
国際商学部	-	260	-	1,040	-	-	-	平成31		神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号				
国際商学科	4	260	-	1,040	学士(経営学) 学士(経済学)	1.15	1.09	平成31	神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号					
理学部	-	120	-	480	-	-	-	平成31		神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号				
理学科	4	120	-	480	学士(理学)	1.12	1.06	平成31	神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号					
データサイエンス学部	-	60	-	240	-	-	-	平成30		神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号				
データサイエンス学科	4	60	-	240	学士(データサイエンス)	1.15	1.08	平成30	神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号					
医学部	-	193	-	943	-	-	-	昭和27		神奈川県横浜市金沢区福浦3丁目9番地 神奈川県横浜市金沢区福浦3丁目9番地				
医学科	6	93	-	543	学士(医学)	1.03	1.01	昭和27	神奈川県横浜市金沢区福浦3丁目9番地					
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.08	1.06	平成17	神奈川県横浜市金沢区福浦3丁目9番地					
大学全体	4	903	-	3783	-	1.13	1.07	-	-					

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等

（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定してください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、

「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定してください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

・履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引」（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻＞

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	河瀬 恵子 <令和5年4月> 学士(経営学)	兼任	講師	河瀬 恵子 <令和5年4月> 学士(経営学)	兼任	講師	河瀬 恵子 <令和5年4月> 学士(経営学)
		大学院・キャリア形成実習			大学院・キャリア形成実習(横浜の産業と企業理解)			大学院・キャリア形成実習(横浜の産業と企業理解)
兼任	講師	鈴木 綾乃 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	講師	鈴木 綾乃 <令和5年4月> 博士(学術)	兼任	講師	鈴木 綾乃 <令和5年4月> 博士(学術)
		大学院・日本語入門Ⅰ 大学院・日本語入門Ⅱ 大学院・日本語Ⅰ 大学院・日本語Ⅱ 大学院・日本語Ⅲ 大学院・日本語実践			大学院・日本語入門Ⅰ 大学院・日本語入門Ⅱ 大学院・日本語Ⅰ 大学院・日本語Ⅱ 大学院・日本語Ⅲ 大学院・日本語実践(文章表現B) 大学院・日本語実践(口語表現B) 大学院・日本語実践(留学生のキャリアデザインA) 大学院・日本語実践(留学生のキャリアデザインB)			大学院・日本語入門Ⅰ 大学院・日本語入門Ⅱ 大学院・日本語Ⅰ 大学院・日本語Ⅱ 大学院・日本語Ⅲ 大学院・日本語実践(文章表現B) 大学院・日本語実践(口語表現B) 大学院・日本語実践(留学生のキャリアデザインA) 大学院・日本語実践(留学生のキャリアデザインB)
兼任	講師	安川 文朗 <令和5年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	松島 調 <令和5年4月> 修士(学術)	兼任	講師	松島 調 <令和5年4月> 修士(学術)
		大学院・キャリア形成実習			大学院・日本語入門Ⅰ 大学院・日本語入門Ⅱ 大学院・日本語Ⅰ 大学院・日本語Ⅱ 大学院・日本語Ⅲ			大学院・日本語入門Ⅰ 大学院・日本語入門Ⅱ 大学院・日本語Ⅰ 大学院・日本語Ⅱ 大学院・日本語Ⅲ
					江後 千香子 <令和5年4月> 博士(文学)			江後 千香子 <令和5年4月> 博士(文学)
					大学院・日本語実践(文章表現A) 大学院・日本語実践(文章表現C) 大学院・日本語実践(口語表現A) 大学院・日本語実践(口語表現C) 大学院・日本語実践(アカデミックジャーナリズムA) 大学院・日本語実践(アカデミックジャーナリズムB)			大学院・日本語実践(文章表現A) 大学院・日本語実践(文章表現C) 大学院・日本語実践(口語表現A) 大学院・日本語実践(口語表現C) 大学院・日本語実践(アカデミックジャーナリズムA) 大学院・日本語実践(アカデミックジャーナリズムB)

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

○専任教員

- ・令和5年4月 准教授 田野島玲大が就任し、「ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ」「ヘルスデータサイエンス特別講究B」を担当。
- ・令和5年4月 准教授 黒木淳が「准教授」から「教授」に職位変更。
- ・令和5年4月 講師 金子惇が「講師」から「准教授」に職位変更。

○兼担・兼任教員

- ・自由科目において、担当教員を一部変更・追加。

【令和6年度】

○専任教員

- ・令和6年4月 准教授 竹内由則が就任し、「ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ」を担当。
- ・令和6年4月 准教授 水原敬洋が「准教授」から「教授」に職位変更。

○兼担・兼任教員

- ・自由科目において、担当教員を一部変更。

【令和7年度】

○専任教員

- ・令和7年4月 教授 間丸拓が就任し、「ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ」「ヘルスデータサイエンス特別講究B」を担当。
- ・令和7年4月 教授 後藤 匠啓が就任し、「ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ」「ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ」「ヘルスデータサイエンス特別講究A」を担当。

○兼担・兼任教員

- ・自由科目において、担当教員を一部変更。

(注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

・A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時ににおける設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時の)状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
3	4	2	0	9	0	5	3	1	0	9	0
(3)	(4)	(2)	(0)	(9)	(0)						
研究指導教員数 うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数 うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数					
9	3	0	0	9	5	0	0				
(9)	(3)	(0)	(0)	[2]	[△1]	[△1]	[0]	[2]	[△1]	[△1]	[0]
現在(報告時の)完成年度時の状況						現在(報告時の)完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
5	3	1	0	9	0	5	3	1	0	9	0
[2]	[△1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[2]	[△1]	[△1]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数 うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数 うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数					
9	5	0	0	9	5	0	0				
[0]	[2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

- ・「現在(報告時の)状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・「現在(報告時の)完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時の)状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出て設置された学部等の場合は、「現在(報告時の)状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・「現在(報告時の)完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時の)完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在(報告時の)状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時の)状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時の)完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	植田 真一郎	R5.3	必修	ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ	①					
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ	①					
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ	①					
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ	①					
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ	①					
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ	①					
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ	①					
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ	①					
				選択	ヘルスデータサイエンス特別講究Ⅷ	①					
合計（D）				後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人			必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目		
				選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目		
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
				計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目		

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定しながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合には「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	准教授	五十嵐 中	R6.3	必修	ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ	①			
1	教授	後藤 溫	R7.3	必修	ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ	①			
1	准教授	竹内 由則	R7.3	必修	ヘルスデータサイエンス特別講義Ⅱ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅰ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅱ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別演習Ⅲ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅰ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅱ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅲ	①			
				必修	ヘルスデータサイエンス特別研究指導Ⅳ	①			

合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3 人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。

- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4 人	必修	16 科目	必修	16 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	18 科目	計	18 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③\text{合計}(D)+(F)}{(2)-②\text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{9} = 44.44\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

(注)・(3) -①、(3) -②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

- 令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
該当なし									
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注)・**定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。

- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当予定科目については、後任教員が着任し、担当するよう調整した。学生の履修等に影響が生じないよう、学生にはオリエンテーションや履修案内等を通じて適切に周知等している。

(注) • 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (令和5年)	特になし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)	特になし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)	特になし		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を

全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻 博士後期課程＞

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) • 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、全学で教育研究の理念と目標を実現し、一層の充実を図ることを目的とした自己点検・評価を行うため、全学の委員会として「教育研究自己点検評価委員会」を設置している。本委員会は学長を委員長とし、副学長、学群長、各学部長・研究科長及び教育・研究系事務組織の部長・課長級で構成される。データサイエンス研究科からは研究科長が委員として参加している。</p> <p>【別添：公立大学法人横浜市立大学教育研究自己点検評価委員会規程】</p> <p>また、教員の資質維持・向上及び教育の質の向上を目的とし、データサイエンス研究科ではFD・SDに係る取組を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>教育研究自己点検評価委員会は年に3回程度開催しており、令和6年度においては、5月7日、6月4日、3月4日の3回開催した。</p> <p>国際総合科学群FD・SD推進委員会は年に10回程度開催しており、令和7年度第1回委員会は5月1日に開催した。</p> <p>教育研究自己点検評価委員会及び国際総合科学群FD・SD推進委員会の議事及び取組については、国際総合科学群の全教員が参加する教授会等（原則毎月開催）で共有・報告されるほか、大学ホームページの学内専用ページで閲覧でき、各教員が他学部・研究科の取組も含めて共有できる体制を整えている。</p> <p>令和7年度両委員会の開催予定は、下記のとおりである。</p> <p>①教育研究自己点検評価委員会 令和7年5月13日、6月3日、令和7年3月3日（3回の開催に加えて、必要に応じメール審議を予定）</p> <p>②国際総合科学群FD・SD推進委員会 令和7年5月1日、6月5日、7月3日、9月4日、10月2日、10月30日、11月27日、令和8年1月8日、2月5日、3月5日</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>委員会の審議事項は以下の通りである。</p> <p>教育研究自己点検評価委員会（規程第2条）</p> <p>(1)大学の教育研究等の向上に資するための自己点検・評価の実施に関すること。 (2)大学が受ける機関別認証評価における、教育研究等に関わる自己点検・評価の実施に関すること。 (3)その他、大学の教育研究等に関わる自己点検・評価及び内部質保証に関すること。</p>
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>・教育研究自己点検評価委員会では、法人中期計画・年度計画をもとに、各学部・研究科で当年度に取り組む教育・研究・FD等の課題解決のための計画を審議・報告し、学長や他学部・研究科等の意見も取り入れ、実施計画の進捗管理及び評価を行っている。</p> <p>・FD・SDに係る取組は教授会で検討し、分野にとらわれず先進的な教育手法を共有し、教育の質向上の取組を進めている。</p>

b 実施方法

- ・教育研究自己点検評価委員会では、各学部・研究科で作成された計画が中期計画・年度計画に沿った内容であり、計画達成に向けたものとなっているか、各学部・研究科の特長を伸ばす取組であるか、また、それぞれの取組が実質化され、成果が学生へ還元されているものであるかを委員長である学長以下で確認し、評価している。

【参考】データサイエンス研究科の取組事項

令和5年度：データサイエンス研究科の定員管理や大学院進学率の向上に取り組んだ。

令和6年度：データサイエンス学部からヘルスデータサイエンス専攻への進学に向けた制度検討や大学院生孤立化解消に向けた施設改修等の検討に取り組んだ。

令和7年度：全学共通の取組課題として成績評価の確認と大学院の適正な収容定員管理を追加し、また大学院生孤立化解消を継続課題と位置づけ取り組む予定。

- ・全学、学部、研究科別のFD・SD研修会では、各教員が取り組んでいる授業内容の改善、新たな教育手法の発表・共有を行っている。なお、コロナ禍の影響もあり、キャンパス間移動時間の削減及び受講のしやすさを考慮し、複数回開催、複数拠点での中継、映像・資料の提供等を行っている。研修終了後には録画を配信し、当日受講できなかった教職員も視聴可能となっている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教育研究自己点検評価委員会は、令和6年度は3回開催し、当年度計画の報告・確認、進捗報告、目標達成と成果の報告が行われた。委員は毎回ほぼ全員参加している。

・本学における全学的なFD・SD研修会及びデータサイエンス学部・データサイエンス研究科における研修会の実施状況は以下の通り。

令和5年度：

全学にて、日本の大学で学ぶ国際バカロレア(IBDP)出身学生の特徴や基本的人権やジェンダーをテーマにFD・SD研修会を実施。また、データサイエンス学部・データサイエンス研究科にて利益相反、生成AIをテーマにFD・SD研修会を実施。

令和6年度：全学にて、オープンアクセスやピアサポート、サービスラーニングをテーマにFD・SD研修会を実施。また、データサイエンス学部・データサイエンス研究科にて大学設置基準の改正をテーマにFD・SD研修会を実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・教育研究自己点検評価については、毎年3月の評価を踏まえて課題を翌年度計画へ反映させ、翌年度第1回目の委員会で確認している。データサイエンス研究科においても令和2年度より計画を策定しており、令和6年度計画については5月7日開催の委員会で報告を行った。

・令和6年度は、データサイエンス学部・データサイエンス研究科にて基幹教員制度等大学設置基準に対する理解を深め、今後のカリキュラムや教員体制の検討に向けた理解を深めた。また、全学的にはピアサポートやサービスラーニングといった教育手法について学内で広く共有し、教育改善を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業評価アンケートは、非常勤講師を含む全科目を対象に、毎年度前期末及び後期末に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートの集計結果は、本学ウェブサイトに掲載するとともに、当該授業担当教員へのフィードバック及び研究科長への研究科内教員のデータ共有を行っている。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和7年度はデータサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻博士後期課程に4人が入学し、3年続けて入学定員が100%と超えている。また、過去3年に退学者が1名発生したものの、今年度の収容定員充足率が100%を超えたことから、本研究科専攻が社会のニーズに即した趣旨・目的であったと評価できる。なお、収容定員充足率が120%を超える点については、今後適正な収容定員管理に努めていき、改善の状況を教育研究自己点検評価委員会で毎年度確認する。本学の特長である少人数教育体制も活かし、FD・SD活動を含めた教員間の相互理解及び学生とのコミュニケーションを円滑にし、きめ細かい教育を行っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和7年4月公表済み

b 公表方法

- ・大学ウェブサイト上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和3年度に一般財団法人大学教育質保証・評価センターにて大学機関別認証評価を受審し、「大学評価基準を満たしている」と認定された。（次回は令和9年度に受審予定）

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 有 無]

« a で「有」の場合 »

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降]
c 公表方法 ウェブサイトへの掲載 その他 ()]

« a で公表「無」の場合 »

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。